

熊本市歯科医師会会誌

第19号



平御櫓（ひらおんやぐら）

1975. 10

表 紙 の 言 葉

平 御 櫓

ひら おん やぐら

バス、トラック、市電その他あらゆる
車、車、車と排気ガス、騒音が一ぱいの
市役所前、坪井川をはさんで、熊本城の
要塞の一角として威容を誇つてゐる。

242mの長塀の東端にあつて特有のき
れいな石垣の線を見せてゐる。登城口の
須戸口門は、この裏にある。楠や榎の緑
の樹蔭からふと耳をすますと、蟬時雨が
三百年の昔と変らない様に聞えてくる。

応 接 室

絵そらごと 熊本市助役 谷 田 起 敏 2

勉 強 部 屋

Complete Denture

Chewing Impression Technique 日本歯学センター 本 多 正 明 3

茶 の 間

随 筆 会 員 出 口 繁 男 8

あなたは今 消費生活コンサルタント 星 子 邦 子 9

堀川住い 前熊本総合職業訓練校々長 城 門 広 海 10

展 望 室

とにかくひとこと 神奈川歯科大学助教授 加 茂 常 一 14

土の顔 熊本博物館学芸員 富 田 紘 一 16

本 日 休 診

ヨット 会 員 武 内 旌 表 20

クラブ紹介 歯科医師会野球部 22

おげんきですか 24

Dining Room

有床義歯の修理とリベース 29

スタディモデル 30

指導料、調整料、監視料について 30

作 業 部 屋

理事会記録 31

各委員会記録 33

委員会だより 34

告 知 板

新会員御紹介 36

退会の先生 36

絵そらごと

応接室



熊本市助役 谷田起敏

応接室に限らず、一枚の絵に接することで気持がなごみ心が開ける。これは絵の効用であると同時に眼の効用と思う。

人間には、美を求める本能がある。この本能を洗練し、高めていくのが芸術作用であろう。絵を鑑賞するばかりでなく、自ら絵筆をとることによって、自らの納得を目指して努力する。段々眼が肥え、技が進むに従って、納得を目指すことが無限の将来を目指すことになる。絵に限らず 造形芸術とはそういうものであるらしい。造形の中には、造形する者の美意識、延いては、その人の性情、個性、教養、能力、生活態度のすべてが凝集される。人そのものが現われると言ってよい。緒方先生、宇治先生の絵には、先生方それぞれの持味が出ている。

中国の古典に「心こゝにあらざれば、視るとも見えず、聴くとも聞こえず、食らうともその味を知らず」とあるように、一応健全な眼、健全な耳、健全な舌や歯があっても、心をこめて見よう、聞こう、味おうと努力しなければ、充分見ることも聞くことも出来ず、真の味も判らぬのが人間である。

人間に生れて、折角具わった眼であり、耳であり、歯であれば、これを出来るだけ健全に保つと共に、心をこめて見、聞き、噛みしめることを、もつと真陰に考えていゝのではないか。

感覚や本能といったものは、人格形成のためなんて大ぎょうなことは言わないが、他の迷惑にならぬ態のものを、一生かけて、心をこめて高めて行くのも人生のはりの一つだと思うがどうだろう。

Complete Denture Chewing Impression Technique



日本歯学センター 本田 正 明

はじめに

このテクニックは、日本歯学センターの田北、寺川両先生が、今日までの臨床経験を通して、いろいろと研究された結果、考えられたものである。しかし、臨床家である我々にとって、医学、医術というものは決して個人のものではない。今日まで歯科界の多くの立派な先生達が、基礎的、臨床的研究を行ったその成果を応用しているのである。

だからChewing Impression Techniqueも両先生がいろいろ応用されて考えられたもので、又、完全なものではない。我々も試行錯誤しながら行っているのです。だから毎日臨床に当っておられる先生方の意見やテクニック上のアイディアなどもどんどん取り入れて行きたい。又我々が使っているこのテクニックも先生方に応用していただけるところがあれば幸いです。

§ 1 総義歯の考え方

総義歯は、全く異なった3つの面より構成されている。

- ① Impression Surface
- ② Occlusal Surface
- ③ Polished Surface

以上3面がI unitとして、各々のtransitional areaによってSmoothに綜合され、如めて失われた咀嚼器官の本来の機能と形態と審美観が発揮されるのである。従来の総義歯は、まずImpression Surfaceを作り、次いでImpression modelから上下の顎位を求め、咬合器にsetして、Occlusionを与え、そのOcclusal surfaceとImpression surfaceの間を、Polished surfaceとして作り上げられて来た。Full Dentureとしてではなく、Completeな機能を行う行為の形態を持ち審美的条件を満たす為に重要な要素は、上下の顎位、特にVertical dimensionである。この違いによって、これらの3面は全ての条件が異って来る。即ち印象的にも、顎位が決定されている事が、I unitとしてのdentureを作る基本となる。その為、日本歯学センターにおいては、Snap impression後、すぐにTray baseを作成し、その上にJoint teethを前歯の発音テスト(「F」position、「S」position)咬合平面の方向、審美性により仮配列を行い、仮床とJoint teethによるimmediate dentureを作り、これをdentureの印象の為にtrayとして、患者自身の咀嚼運動によって、impression surfaceを作り上げている。

§ 2 Chewing impression の特徴

- 1) Vertical dimension が可及的、顎位に近い状態で、印象出来る為周囲に付着する筋肉の生理的状态まで、trimming 出来る。
- 2) basal seat の Pressure control は患者自身の筋肉の力と、下顎運動によって行なう事が出来る。又患者の咬合圧と粘膜の弾性、並びに粘膜、筋肉、顎関節の反射機能の状态が、術者の手で行う以上に印象面に再現することが可能である。
- 3) 時と場合によって、印象後、Polished surface に各種の材料をつけて、同時に Polished surface の形態を印象する事も出来る。
- 4) Joint teeth を使用している為に、Check bite 法により同時に condyle path の測定が可能である。
- 5) Face bow は天然歯列用の bite fork を使用して、咬合器に set する為、wax 等による bite rim を壊す事がない。
- 6) 如何なる occlusion を与えるかの診断が容易に出来る。
- 7) そのまま埋没すれば、immediate denture として、又診断用 denture として treatment denture として、1 日で作り上げることが出来る。
- 8) denture に近い形態の tray で印象する為、患者の異和感が非常に少ない。
- 9) 来院日数が従来より少なくてすむ。
- 10) この方法は old denture の診断、old denture の repair 又、old denture を活用して印象する基本となる。

§ 3 前 準 備

- 1) Tray の選択

上顎は、後方の結節部と口蓋小窩を十分にカバー出来るものを使用する。その為に 45 度で、口腔内に挿入し、結節部を適合させ、次に前歯部を適合させる。しかも小帯の生理的運動の範囲の所を、カバーしてはいけない。

下顎は、術者の第二指を片側の後臼歯三角の上に当て、その位置から舌側に回し、そのまま少し奥に入れる。次に指の力を抜いて、患者に反対側の口角部に舌尖を持っていかにす。すると第二指は、少し手前に戻される。その位置からもう一度後臼歯三角の上に回す。そしてその位置まで十分にカバー出来る Tray を選ぶ必要がある。

2) Snap Impression

alginate の、二重印象を行う。一次印象は、まず Tray の上にスペーサーとしてユーティリティーワックスを置き、その上に硬く練った alginate をのせ印象する。この時に、全ての機能運動、すなわち嚥下、吸引、開口、舌運動をさせる。次に取り出して余分な個所や、厚く印象のとれている所をバードバーカーで、trimming を行う。すでにこの時には、出来上る総義歯の床外形線が頭の中に描かれていなければならない。その為に解剖学が特に重要になってくる。そして十分水洗、乾燥後、二次印象に進む。今度は、alginate を可及的に軟かく練り、震動を与えながら Tray を定位置に持っていく。そして一次印象と同様に機能運動を行わせる。

3) Study model の作製

適法に従い作製する。

注意事項

- ① 結節部、後臼歯三角の状態
- ② 小帯の付着状態
- ③ 粘膜の状態

④ 骨隆起と undercut の部位と状態

§ 4 Chewing Impression Tray

1) Tray base の作製と試適

作製は通法に従う。維持、安定性の良い総義歯を作るには、base の安定ということが不可欠になってくる。

2) 上顎前歯配列

Tray 用に配列される人工歯は、全て Joint teeth を使用する。上顎前歯の位置決定の基準は、中切歯切端が、安静時に wet-dry line にふれるかふれない様な位置に配列する。又は、Dr. Pound のテクニックによる「F」「V」の発音テストも参考にすると良い。そしてこの時に審美性をよく観察しておき、陶歯配列の参考にする。

3) 上顎臼歯配列

この Step は、咬合平面の仮決定である。決定するに当たって最も重要なことは、下顎顎堤の吸収状態である。すなわち、状態が良ければ、カンベル氏平面に平行にし、悪ければ、フランクフルト平面又は Axis-orbital plane に平行にする。何故なら咬合平面の方向が、後方上りな程、Disclusion が、出来にくい。言い換えれば Cross balanced occlusion が与えやすい。しかし、側方力を受け易い為下顎義歯の高径が大きくなるので、下顎顎堤の状態が悪いケースでは、咬合平面の方向と、可及的に flat にすべきである。今までの咬合平面の Check は、前後的な方向であり左右は、瞳孔を結んだ線に平行にする。

4) 下顎前歯配列

この step は、Vertical dimension の仮決定である。配列の基準は、old d-

enture 装着時の咬合高径、あるいは、義歯のない人であれば、安静無咬合位と安静空隙から計算された咬合高径である。この基準になる咬合高径を出発点にして発音テストを行って、位置を決定する。この発音テストに「S」position の応用である「さしすせそ」、「さいたさいたさくらがさいた」又、うまく発音出来る人であれば「S」をそのまま発音させて、決定する方法がある。この「S」position というのは、下顎前歯が上顎前歯切端に向って接近する。この時、垂直的に見て中心咬合位に近い状態とされている。(Dr. Pound)

この step で最も重要なことは、その患者特有の Over-bite, Over-jet と、審美観をよく見ておくことである。

5) 下顎臼歯配列

この配列位置は、発音した直後に嚥下をさせて決定する。そして印象材の厚み約 2 ~ 3 mm 咬合高径を低くしておく。但し咬合高径が old denture で、低くなっていて少し高くないケースは、それ以上低くする必要はない。

§ 5 Impression

1) Basal seat の印象

Xantopran の Function (バイエル) を、tray にのせて、最初は上下別々に、手で少し加圧しながら定位置に持つて行く。そこで取り出し、余分な所を cut して、次に上下同時に口腔内に入れて咬合させる。後は患者自身に、咀嚼、嚥下、吸引、開口、舌運動、発音を十分にさせる。患者は決して必要以上に咬合圧を加えたり、生理的範囲を越えた運動はしない。そして筋肉、靱帯、粘膜、顎関節の反射機能によって、患

者自身が comfortable position である中心咬合位を見つけだし、その位置で咬合する様になる。初めは、印象材料に弾性はないが、硬化が進むにつれて弾性が出て来るので、患者自身でうまく Pressure control をしてくれる。その上、人工歯の展開角が0度なので、中心咬合位の位置を規制されることはなく、又側方力が加わらないのでTrayの安定は良い。

2) Muscle trimming

総義歯の Retention を得る為には、粘着と吸着という力が大切になって来る。その吸着を十分活用する為に、Muscle trimmingを行って、義歯周縁が周囲の筋肉と調和をとり、空気の入ることのない様に封鎖し、可及的に陰圧にする。又、周囲の筋肉の生理的運動が義歯脱離の力とならない様にする。その為に解剖学を理解する必要がある。特に筋肉の付着部位、走行、運動状態を知るべきである。

3) 精密印象

粘着による Retention を大にする為に、床面積を大きくする。この Step も 1) の Step と同様の運動を素早くさせる。

印象材料は、Xantopran blue を使用する。

§ 6 Check bite

総義歯の Occlusal surface を作るのに咬合器の調節が必要になってくる。その為にパントグラフや Check-bite をとるかあるいは平均値で作る場合もある。

我々は、Check-bite を使用している。人工歯が配列されているので、ゴシックアーチトレーサーを使用せず、イソコンパウンドを使っている。前方位、側方位の Check-

bite を取ったなら、最後に仮設中心咬合位をキサンタノで取る。

§ 7 Face bow

Face-bow は、患者固有の顎頭に対する上顎の位置関係を求める為に使用する。我々は、補綴物を作るのに顎口腔系神経筋機構との調和を考えねばならない。総義歯製作に於て、下顎運動というものを全く無視して人工歯を解剖学的に配列したならば、側方、前方運動時に義歯脱離の力が加わったり、顎堤の吸収がおきたりする。

§ 8 陶歯の選択

患者の顔に trubyte tooth indicator を使用して、上顎中切歯の大きさを決め、それに準じて上下前歯を選ぶ。又、白歯は 33° 30° 20° 0° その他特殊なものもあるが、下顎の歯槽の状態によって使い分ける。色調、形態は、顔の皮膚の色、口腔粘膜、口唇の色、顔の外形、現在使用している義歯の色、形、そして患者の希望によって決定する。

§ 9 技工室での作業

- 1) 本模型の作製 (V字溝を必ず堀る)
- 2) 咬合器への set
- 3) 咬合器の調節

§ 10 陶歯配列

- 1) 上顎 Tray の除去、配列と試適

上顎六前歯の審美性は、非常に大切である。その為に人工歯をそのまま配列することは決してなく必ず削合して配列する。白

歯は、Contact pointを作らないこと。
さもないと重合後の浮き上がりが大きい。
その他の注意は、適法に従ってcheckする。

2) 下顎Trayの除去、配列と試適

このStepは、前歯だけで音声学的、審美的に、口腔内で「S」positionのcheckをしながら配列していく。

3) 中心咬合位の決定

上顎と下顎前歯が決まれば、下顎臼歯部にブルーワックスをのせて発音テストをさせ、その直後に嚙下させて中心咬合位を決定する。従来は、咬合堤を使って咬合採得をしていた。これは、咬合の後方決定要素を先に決定する方法で、我々が行っている方法は、Dr. Poundの方法と同様に前方決定要素から先に決定していく。

4) 下顎本模型のリマウント

5) 下顎臼歯の配列と試適

上顎臼歯の配列調整

6) Denture spaceの印象

Polished surface 作製の為に Xantopran blue, green を使用して機能印象を行う。

7) Wax denture の完成

歯齦形成を完成させ、前歯の形態修正を完了して、最終試適をする。

§ 11 埋没、重合、咬合調整、研磨

1) 埋没：二重埋没を行う。フラスコは上部と下部がしっかり合っているものを使用

2) 重合：Denture stainを周囲粘膜の色に合わせて入れる。その他は適法に従う。

3) 咬合調整：総義歯、天然歯ともに、多くの理論や術式が発表されているが、完全なものはない。我々も臨床で試行錯誤しながら行っている。近々、我々の考え方がまとめられるであろう。

4) 研磨：適法に従う。

§ 12 口腔内の調整とSet

1) 咬合調整

2) 周縁の調整

3) 前歯の審美性の調整

4) Set

随 筆

茶



会 員 出 口 繁 男

氣と云う言葉は日常よく使用されている。
●氣持がよい、●氣が向く、●氣がつく、とか色々
の場合に使われる。

元々氣という言葉は生命（いのち）を司ど
る。云わばエネルギーとでも云うべき意味に
使われる。

最近、合気道と云うことが云われているが、
合気道の●氣と云う言葉がこの●氣に相当する。

昔中国の老子が「心を淡にあそばしめ、●氣
を莫に合す。」と云うことを云ったが合●氣と
云うことは、これから起こったと云われている。
合気道の創始者は植芝盛平師である。合
気道は武闘術ではなく氣に合する道、即ちい
のち（生命）を活かす道である。

私は合気道が護身と健康に良いと云うので
50才の頃この合気道に入門した。当時私は
本態性高血圧症であつたが主治医の許しを得
て入門した。最初基本業から始め、段々進み、
2年間で初段を許された。合気道独特の呼吸
法のコツを会得して、若い人で柔道や唐手道

をやった人にも老体ながら対抗出来るようにな
って、合気道の良さが解って来た。体力を
使わないで柔かさを尊び、私にもそのすばら
しさを楽しみながら続けることが出来る様にな
った。

いつの間にか15年の年月を経過し、64
才で五段を許された。その頃には体もやわら
かになり臨機応変の業も出る様になった。

“氣”と云うものを体得したのもその頃であ
った。合気道は老人（50才～60才）の健
康法にも適していると思う。但し私の体験で
は、60才までが限度で、その後は極く静か
に体を動かすことが必要で、今から考えてみ
ると受身業など若者同様にトンボ返りなど、
派手な動きはつつしませねばならない。

戦地で健康をこわしてせいぜい60才位ま
でとあきらめていた生命が70才（老人の仲
間にははいらぬが）の今日まで生きられると
は思いもしなかった。今後は出来るだけ楽し
く長生をしたいと願っている。

あなたは今

今日、貴方は何種類食べましたか。いえ、食事のメニューではありません。いわゆる、自然のものでないものをどの位口に入れたかという事です。「そんなものは食べないよ」といいたいでしょうネ。ところがです。朝、味ソ汁と香の物を食べた人は、安息香酸、サッカリン、食用黄色4号アルミニウムレーキ等々、人工甘味料、着色料、保存料等、食品添加物をガバと口に入れているのです。

ハムを食べた人は発色剤、殺菌料、等々…私達の食生活にいかにか多くの合成添加物がはいこんでいるのか……。ズルチン、チクロ、パラゾール、AF₂ といえば、ここ10年以内に使用禁止になった添加物、それでもまだ336種の添加物が現在の食生活に活躍しています。

食生活が豊かになり、季節はずれのキュウリやトマト、スイカにイチゴ、冷凍技術が進んで魚や肉もいつでもほしい時に食卓に出せるようになりました。でも、20年前の丸かじりしていた時のトマトやリンゴのおいしさ、今、なくなつたような気がします。塩や塩水につけなくとも、ほろずっぱい甘さはあふれるようでした。白菜だって、太陽の光の中で育つたのとハウスの中で育てられたのでは味が違います。卵に至っては論外、黄味の丸さや、白味の濃さ、いたみかけているのではないかとさえ思えます。夜中まで明りをつけ、生めよふやせよと、鶏も機械と何ぞ変わる所がない。第一、エサからして違う。自由に庭先で動きまわり、草やムシを食べてた鶏、今は小さな金網の中に入れられ方向転換するの

消費生活コンサルタント 星 子 邦 子

さえやつと、合成飼料と太陽ならぬ人工燈でノイローゼの鶏が続出とか……。

殺虫剤がタップリの果実、野菜、添加物フンダンの食品——虫の食った野菜、果実を最近見ましたか？無添加をキャッチフレーズにした食品が多くなりました。本当は、それが食品本来の姿であるべきなのに……。考え込んでしまいますネ。自然のものがなつかしいなつかしいで事が済めばいいのですが、食品公害で泣く人がどれ程いるか……。こんなものを食べ続けて良いはずはありません。

食品とは……生活環境とは……教育とは……こんな仕事をしているとつくづく一人一人の力が弱い事、そしていかに安易に日々を暮しているか、この先どうなるのか不安で不安でいてもたつてもおれないような暗い気持ちになってしまいます。

豊かになりすぎて、それが当然のように思える事が最も恐しい。「イマサラ……」とか「ソナコト言ッテイタラ暮セナイ」という考え。貴方もその一人ではありませんか。

デパートの惣菜売場、コロッケ、天ブラ、焼ソバ、煮つけ、飛ぶように売られています。お宅の食卓で、その姿をまだ見た事のない貴方は幸せです。ウドンのダシも、ソーメンのつゆもお湯や水でうすめるだけ。カレーやミートソースはレトルトバック——。主婦は楽になりました。時間と手間はお金さえ出せばいとも簡単に手に入る。「手抜きはしないでくれ!!」という男性が、女性の為に考え出した商法。考えてみればこれもおかしい。うちの奥さんには手抜きはしてほしくないが、よ

その奥さん達にはオオイに買っで欲しいという、ゲンツシギナ恩感。

洗剤、薬品、家庭で使われている、もろもろのもの、注意書をもう一度良く読んでほしい。台所用洗剤に「3分以上つけ込まないように」「すすぎを良くするように」と書いてある事、御存知ですか？それにしては、ハウレン草、レタス、キュウリ等、洗剤液につけこんだまま他の仕事を片付ける……など言う奥さんが意外に多い。慢性毒性の危険が話題になっている時でさえ「ソーデスカ？」とノンキな答。胃がおかしい、頭が重い、体がダルイ、救急箱には薬がいっぱい「いいのですか？そんなに飲んで//」子供の具合が悪い、サア病院へ「先生 注射して下さい//」

情報過多の生活は、TVが中心になり生活のリズムが作られる。チクロの問題で新聞、TVがさわいだ時、マーケットでは、サイクラミン酸ナトリウム（チクロの別名）と名前を変え売られたが、値下げしてある為か、主婦等は何のためらいもなく買っで行った。チクロはダメ、と知っでいても、うわべだけの知識だからサイクラミン酸ナトリウムと名前を変えたらもうダメ。又、「今迄食っでいてどうもなかつたのだからノ」と価格の安さに

手を出す主婦、又それを面白半分に取り上げるマスコミ、もつと真険に報道ができないものか、と腹が立つたものだった。

有吉佐和子の「複合汚染」がベストセラーになり、今迄さほど興味を持たなかつた人達も本気になつて考え出した。それでなくても当然の事なのに……何故なら、熊本は水俣病という尊いギセイを払つてゐるのだから。人の事と済す事が出来るなら……もし、自分がその立場だつたら……と考えないのでしょうか。

茶の間で子供達と話し合う一番良い題材になり得ないでしょうか。社会の連体感と未来像、個人の個人でない責任。

私があり、貴方が居る、年寄りがあり、子供が居る。その全てが安全で豊かな暮らしをする為。

誰が被害者にならないという自身があり、誰が加害者にならないという保証があるでしょうか。

あまりにも安易に日々を暮している、と思いませんか。「自分だけがよければノ」という考え、貴方は本当に持ちませんか？

堀 川 住 い

清水町八景水谷地区、通称堀川に、ささやかながら“遂の住家”のわが家を建てて移り住んでから、既にして3年半の歳月が流れ去っている。

30数年にも及ぶ公務員勤務を退いて、雇用促進事業団職員として熊本総合高等職業訓

前熊本総合職業訓練校々長 城 門 広 海
練校の校長に就任したのは、46年4月1日であつた。それまで約19年間は、国営宿舍に住んでゐたが、俄かにそこを出なければならなくなつた。突然の転職で持家の用意がなかつたので、特別申請により7ヶ月余公住に居据わらせてもらい、その間に敷地の購入、

家の新築と、生まれてはじめて煩わしい交渉
ごとをせざるを得なかった。

新勤務地が、菊池郡西合志町黒石になる関
係で、まず敷地は、市内で通勤の便利な場所
を選ぶ方針を立てた。知人の世話でYという
不動産屋を紹介してもらい、方針を話すと早
選手頃な候補地が見つかった。熊本電鉄の堀
川駅から東南方向に歩いて約5分余の80余
坪の敷地であった。家族一同で検分した結果
賛否意見は分れたが、買上げ額の都合もあり、
この程度のところで仕方なからうということ
になった。

そこは、市内とはいえ、周辺にまだ畑地が
残っており、家も点在している。いかにも田
舎めいた、場末の感じのところであった。そ
して奇しくもY不動産屋は隣りの住人であっ
た。彼は、この地は、ひばり前線も早く、春
に先がけて大空にひばりが囀り、常時畑の青
々した野菜を見られ、野良仕事のお百姓さん
から西瓜、大根、トマトなど新鮮なものを分
けてもらえる等、口を極めて宣伝し、また周
りの道路もやがて市の管理となり、舗装、側
溝の設置も間近いとしきりに勧奨した。いわ
ゆる営業用の口上で、私とて顔面どおりには
受けとらなかったが、急いでいて理想的な土
地を広く物色する余裕などなかった。

土地購入の凡ての用件、手続が5月の末に
終り、家の建築にとりかかった。D建設とこ
れまた面倒な相談、打合せや諸手続があつて
契約が整い、工事ははじまったのは8月上旬
の頃であった。工事は順調に進んで10月末
に竣工し、引越すことができた。木の香も新
しい新築の家は、新調した家具類とともに、
気分も一新して家族一同満足であった。

新居からの通勤は、電車、徒歩あわせても
25分もあれば充分であり、また、近所に住
む同勤の職員の車に便乗すれば8分程度でよ

かった。大学・高校へ通う子供達も、前より
通学時間はうんと短縮された。通勤、通学の
便は思ったよりよく、その点では所期の目的
を達成することができたわけである。しかし、
何もかも満足というわけにはいかず、意に満
たないことも、まずいことも少なくはなかつ
た。

第一に指摘されるのは、冬場の寒気のひど
いことである。単に郊外であるからばかりで
はないらしい。地理的条件からくるのか、気
象的なものだという。おそらく市街地と比べ
ると2〜3度は気温が下るようだ。とくに冬
の朝の冷えこみは相当なものだ。霜柱が数セ
ンチも庭土を持ち上げていることも珍しくな
い。引越した直後の冬は、厳冬といわれた年
ではあったが、ことのほか体にこたえたもの
である。郷里からとりよせて庭に植えた白木
蓮も4度花時を迎えたが、蕾が開きかける時
分に毎年何度か霜に会うため、咲きかけの花
がやられて褐色のふちどりができ、本来の純
白の花を満足にみたことがない。多年根の草
花の鉢も、霜夜にうっかり家に入れ忘れると
すっかりいかれて、幾鉢か駄目にしてしまっ
た。

次に道路の不整備なことには随分と悩まさ
れた。住みはじめの頃からすると余程よくな
ったが、ここ当分解決しそうもない問題も残
っている。

電鉄堀川駅と県道（菊池街道）とを跨ぐ横
断陸橋が46年5月に完成して便利になった
が、陸橋をわたり城北小学校に通ずる道は、
通学道でありながら、田舎の、いわゆる馬道
の域を出なかった。陸橋を降りてすぐのところ
が約20米にわたり道路巾が3米しかなく、
そのため市が舗装、側溝工事をとり上げてい
なかった。町内会が地主に交渉して、4米巾
に広げるよう寄附を申し入れたが難行をきわ

め、10年に及ぶ、繰返し繰返しの交渉で、やっと48年に入って地主が承諾したという。それからやっと市がとり上げ、48年度一杯かかって側溝、舗装工事が行われた。それまで、雨が降るとたちまち泥んこ道となり通行に難儀をきわめていたが、漸くその苦勞から解放されたのである。

通学道から分れてわが家に通ずる道がある。この道は、3米巾のところはかなりあり、しかもその一部は私道になっている（登記面）そのため地元（隣保）の再三にわたる市への陳情にもかかわらず、未だに市の管理に移してくれない。従って地元住民で管理せざるを得ないありさまである。地元で、地主に寄附してもらうか、買収して、4米巾にして市に申請しないと市道編入は罷りならぬというのである。

48年の春から夏にかけて隣保の会合を数回開いて市への陳情、地主交渉と活発な行動を起してみたが、壁に行き当たってしまった。農家である地主は、公共的考えなどさらさらず、周囲の道路が整備されると最も地価上昇で得をするのは地主であるのに、寄附など以外の外とすげなく断られる仕末、改めて買い上げ交渉をしたが、価格の点で断念せざるを得なかった。

道路の市道移管問題は一応見送ったが、側溝については万難を排して隣保で工事を行わざるを得ないこととなった。というのは、隣保約30戸のどの家も吸い込み穴を設けて、下水等の処理をしていたが、これとて早くも3年、おそくとも4～5年経つと役立たずとなり、また2つ目の穴がだめになると屋敷内に新たに掘る余裕地がないといった状況で、外に汚水が流れて道路にあふれ悪臭等甚だ非衛生な状態を生じていたところもあった。かくして側溝設置は焦眉の問題となったので

ある。そこで、この問題のみにしぼって、隣保の寄り合いを数回催して話し合いを進めた。甲論乙駁、市が当然やるべきだ、現在の道路も元をただせばわれわれが高い土地代を払ったなかに含まれているのに、これ以上の負担はできない、市の不動産業者、地主の指導不足が原因だ等、いろいろと意見が出て調整に紆余曲折はあったが、最終的には側溝建設を地元の責任でやることにまとまった。

48年も夏のことである。各戸の位置により負担区分が決まり、1戸当り5万円～10万円程度の出費となった。10月頃には不充分ではあるが、何とか間に合う程度のものでき上った。一番喜んだのは主婦の人たちである。安心してじゃんじゃん炊事の水も使えるし、お湯を毎晩わかしてもよい。心配せずに洗濯ができるというのである。なんともはや、慎ましい喜びではなからうか。

ここで、ひとりの市民として、少し市の道路行政についてもものを申してみたい。

市民税や固定資産税はその人の収入や不動産を基礎に一紀同仁、公平に賦課されていると思うのだが、こと道路に関する限り、市の住民サービスには随分と不公平があるのではなからうか。居住の地域によって、整備されているところと、全く手つかずのところとあるのは事実である。住宅地は、旧市内を中心に四方にひろがり、郊外へ郊外へとび、市内はおろか隣保町村にまではみ出してきている現状では、市の財政能力から行き届かない地域があるのは仕方のないことだとも一応は思えるが、旧市内に足を踏み入れてみて、2米程の狭い路地まで舗装、側溝が完備しているのを目にすると何とも割り切れない気持がのこるのである。市側としては、財政面ばかりでなく、市道編入の法的基準あるいは地域の優先順位等いろいろ都合もあろうが、納得

できないというのが実感である。地元の熱意、努力や陳情の有無もさることながら、市が各地域にわたって実状調査を行なって声なき住民の不満も吸い上げるようにして、長期展望に立った都市計画なり道路整備計画なりを作成できないものであろうか。「対話の行政」を進めてもらい、将来のことがよく説明され納得さえできれば、そこ2～3年待つことは何でもないと思う。

区画整理もできていない、家が建つごとに次々と道をつなぎ、ジグザクとしていて、そこそこが行きつまりの袋小路となっているような場所に誰もすき好んで家を建てたくはないだろう。サラリーマンや年金生活者等にとっては、それこそ爪に火をともし貯えた自己資金を投じて買える土地は、せいぜい坪当たり4～5万円程度までが限度であろう。80坪の敷地と家の建築と合せると最低1,000万円の入費となるのである。環境の整備された都心地への交通便利な土地となるとどうしても坪10万円以上となり、所詮は高嶺の花である。勢い、不満足ながら、郊外へ郊外へと庶民住宅のはびて行かざるを得ないわけである。夫の勤め先は市内、主婦の買物も市内、子供は市内の学校へ通う、すなわち生活の本

拠は熊本市にありながら寝泊りの家を隣接町に持つといったケースは最近増える一方で、時々越境入学問題などが生じているが、これらの人達もほんとうは熊本市内に家を持ちたいのだが、さきに述べたような経済問題が原因と思われる。

次に買物の不便さがある。引越した当初は随分と家族一同から貰められたものである。従前の居住地が北水前寺で余りにも買物の便がよかつたことから、なおさらであつた。

堀川商店街を中心に、日用品、食料品等については一応間に合う程度の商店は揃っているのだが、品数も少なく、気に入らないことも多く、ちょっとした買物にはやはり市街地まで足をのばさざるを得ないのである。

以上、堀川住いのまずい点ばかりをくどくどしく述べすぎたようであるがよい点も多い騒音がなく、夜など全く静かであること。年中周辺に緑をみられること。空気はあくまで清澄なこと。2階からは、金峰山、阿蘇外輪山等展望が効くこと等。そして3年がかりで庭づくりをしたので、植木いじり、錦鯉の飼育など、健康な老の楽しみも増えてきて、いまでは結構、この地への愛着も感じている。「住めば都」とはよく言つたものである。

展望室



とにかくひとこと

大学を卒業して、早や11年、神奈川歯科大学保存科に席をおいてからもう5年経ってしまいました。短い期間かもしれませんが、この間父の診療所を半分手伝うかたちで一般住民に対する歯口清掃活動を、どんな考えのもとに行ったらよいか、また、具体的にどんな形で……といろいろ考えて来ました。

昨秋、東京で熊本市歯の菊池英一先生と、私なりの歯口清掃指導についての考え等についてお話する機会を得ました。その後、熊本市歯科医師会誌に、その時の内容をかいつまんで書いてみたらという手紙を受け取りここに筆をとる次第であります。

まず第一に、我々が反省しなければならないことは、今までの歯口清掃指導の考え方や伝言の仕方は、甘いものをあまり食べないようにとか、乳酸菌飲料を飲ませないようにとか、という禁止や抑制を意味する言葉が多かったように思います。これらは、ただ～してはいけないという禁止的な言葉であり、ではどのようにしたらよいかとか、どのような考えのもとにどうしたらもっとよい歯口清掃状態を保つことが出来るかというような建設的な言葉が、我々歯科医師の口から出ることが少なかったように感じます。～しない方がよいとか、～しなさいとか、建設的な助言が、何十年も前からの歯科医自身が、ちょっとし

神奈川歯科大学助教授 加 茂 常 一

たときにこれらの言葉に出して一般住民に伝え浸透させ、これが成功裡に終わっていたならば、現在のような虫歯や歯周疾患の氾濫する世の中は来なかったのではないかと思います。

そこで、今回この紙面をかりまして私の歯口清掃指導の考え方の成り立ちに役立っているアイデア集のようなことを2、3述べさせていただきますことにしました。

これらの言葉は、わかりやすい言葉で短いものであることが必要であると思います。また、その使い方は、初診時の患者が応急処置を済ませチェアを離れるときとか、会計しているときとか、これらのほんのちょっとした時に「ひとこと」言うということが大切であり、広く一般住民に歯口清掃を促進する糸口にしたいものであります。

まずはじめに、口腔内細菌の集塊である菌垢が歯面に附着すると、2、3日で石灰化がはじまり約一週間でいわゆる歯石になりますそしてこれらの菌垢や歯石が歯牙表面に附着すると虫歯が出来やすくなったり、歯肉と触れていると歯周疾患の原因の一つとなっていることは周知のことです。そして、この菌垢の中の細菌は唾液中に溶けているしょ糖その他の栄養分を吸収し増殖します。この結果生じる唾液のPHの低下によって歯牙表面の脱灰が起る、いわゆる虫歯のはじまりが起ると

考えられています。また一方、細菌の出す毒素によって歯肉炎が起ると言われています。だからこれらの歯垢を取り去れば虫歯や歯周疾患になりにくくなります。

しかしながらこの歯垢は一度歯牙表面に附着すると非常に除去されにくいですが、しかし線維性の食物を食べることによって自然に取り去るにすれば、軟かい食事をしているよりも歯垢が少なくなり、その結果虫歯や歯周疾患が少なくなると考えられます。

現にオーストラリアやニュージーランドの原住民には虫歯や歯周疾患が少なく、文明の進んだ砂糖を多く消費する国ではこれらが多く観察されています。

この報告によれば、糖分が少ないというのみではなくて、食餌の性状、いわゆる線維性の高い食品を加工せずに日常食べていれば歯牙表面に停滞する歯垢を引っかき落とすためにそれらが減少すると考えられます。

このような考えのもとに、長野県歯科医師会では、食事やおやつ後にタクアンや野沢菜のような線維性食品を食べる運動を考え、カリカリ運動と名付け一般公衆に拡める努力をしています。

またこれとは逆に、家長が消化器疾患に犯されている家庭ではその人の食物の性状に合わせるため、歯を磨いてくれるように働いてくれる線維成分の多い野菜などが少なくなり、軟かい食品が主になって来る結果その家族も虫歯や歯周疾患になりやすい状態におかれています。

私は永久歯の虫歯や歯周疾患を減少させるには、乳歯の虫歯をいくらかでも減少させることが大切であり、この乳歯の虫歯を減少させるには、幼児の歯口清掃教育とその母親の教育とが併行されることが望ましいと思います。

また話は変わりますが、乳酸菌飲料を多用すると虫歯が増えるということを聞きます。これは乳酸菌飲料が直接歯牙表面を溶かすのではなくて、その飲料中に含まれる糖が多いため、虫歯を作るのに役立っている口腔内細菌に栄養をあたえ、それらを活動させることによって虫歯を作ると言われています。

そこで神奈川県歯科医師会では、乳酸菌飲料一杯、水一杯という運動を強く進め乳酸菌飲料を飲んだら水一杯をブクブクうがい的な飲み方をし、口腔内にある糖分を洗い流すことによって虫歯を減少させようとしています。

また一方、歯牙表面を脂肪や油で覆ってしまうと虫歯にかかりにくいという報告もあります。でありますので乳酸菌飲料を飲んだ後水や牛乳を飲ますとか、糖分の多い飲料よりも牛乳を主とした方がよいと思います。従って間食には、糖分の少ないものに切り換え乳製品を多く間食に導入するようにすれば虫歯の減少や抑制出来ると思います。

また、通常の状態であれば、唾液中の糖分は、45分～60分で洗い流されると言われています。がしかし、この間歯牙は虫歯に犯されやすい状態になっています。だから一度甘いものを食べたらすぐうがいをして、少なくとも2時間位は次を食べないという習慣をつけることが大切だと思います。

また、次のようなことも我々が考えなければいけない問題の一つであると思います。甘いものが好きな子供に育つか、そうでない子供に育つかは、その子供が糖分の多い人工乳で育てられたか、あるいは母乳で育てられたかによることが多いと思います。でありますので、授乳中の子供に対しては、国産の人工乳の中の糖分は母乳のそれに比べると、非常に多く入っていますので出来るだけ糖分の薄いものを使用するかまたは全く母乳のみの方

が望ましいと思います。なお、外国製品には母乳と類似した成分の人工乳がありますのでこれを進めたいのです。

ここではじめの目的にもどりますが、今まで述べてきましたようなことから、

“赤ちゃんのミルクは出来るだけ母乳で。

“出来れば母乳に近いミルクを……。 ”

“歯を磨く時間を長くしなさい。 ”

“線維の多い野菜を食べるように。 ”

“乳酸菌飲料を飲んだらすぐ水やお茶でブクブクしなさいよ。 ”

“一度甘いものを食べたなら2時間位は、次を食べないように。 ”

“おやつは出来るだけ牛乳やチーズで。 ”

“おやつは砂糖分の少ないものに……。 ”

というようなちょっとした“ひとこと”を子供や母親に伝えることが、現在の虫歯氾濫時代を短かくすると考え、日常臨床に“ひとこと”をお願いします。

この紙面をかりまして平常考え実行していることを述べさせていただきました。

土 の 顔

我々の歴史の中で、祖先達は様々な記念物ともいべき顔を残している。縄文時代以降においては粘土製の顔が多くみられる。土偶や埴輪がそれである。縄文時代(約1万～2300年前)のものを土偶とよび古墳時代(約1700～1300年前)のものを埴輪とよんでいる。土偶は高さ5～40cmほどで乳房や性器が誇張され、奇妙な文様で飾られており、ほとんどが女性を表現している。縄文早期から晩期まで通じて見られるが、特に中期以降に増加する。これに対して埴輪は土師質とよばれる黄、赤色系の素焼のものである。古墳の埴輪に立て並べたもので大きさは1～1.5mもある。この様な原始、古代の顔をみても現代に存在する金銭であがなわれる造形物とは異なり何となく作者の心が表現されている感がある。

ここでは、熊本県下から発見されている縄文時代の土偶について紹介してみたい。

土偶はそれ自体単独に存在するものではな

熊本博物館学芸員 富田 紘一
い。土偶を作る文化とその生活に支えられて存在するものである。熊本県下ではすでに200個近くの土偶が発見されており、中でも菊池郡泗水町三万田遺跡では50個以上が出土している。この出土数は東日本の各県に比べると著しく少ないものである。しかし、西日本の各県では平均して数例の出土があるにすぎず、その中では抜群に多量といえる。熊本のものは縄文後期の終末から晩期中頃(約3000～2500年前)にかけて作られたものであり土偶の歴史の上からみると、その終り頃の所産といえる。それでは、何で熊本に近隣の各県をしのいで数多くの土偶が作られたのか、熊本の土偶はどのような特徴があるのかに興味のある事である。

熊本県下の縄文遺跡は後期のはじめまではいくつかの貝塚を除けば数もさして多くなく規模も小さい。ところが、後期中頃から次第に台地上に遺跡が増加する傾向になり、後期末三万田式から御領式の時期を経て晩期初頭

まで広大な面積を誇る大遺跡が数多く出現して来る。この大遺跡は阿蘇外輪西麓にひろがる台地上にあり、阿蘇郡、上益城郡、熊本市、飽託郡、鹿本郡、菊池郡、菊池市に属する部分である。この中でも特に熊本市の託麻原台地及び立田山周辺、北部町の井芹川周辺、西合志町、泗水町、旭志町の合志川流域の台地上に集中している。遺跡の立地はいずれも台地にくいこんだ小さな侵蝕谷に面しているものが多く、谷の水と台地の食料獲得が生活の基盤となっている様である。この時期には鍬状の土堀り具として用いたらしい打製石斧が多量に発見される。この事からして、大遺跡の出現は原始的な農耕が開始されたことによって形成されたものであると説く学者もいる。しかし、現状でははたして農耕が存在したかどうか疑問である。それより、多量の打製石斧や土偶の増加は縄文中期に関東中部地方にみられた現象であり、縄文文化全体の中で再検討すべきであろう。それでは「なぜ」終期の終りになって大遺跡が出現したか、それが問題であるが、現時点ではまだ解明されず、これからの研究に待たなければならない。

土偶はほとんど女性を表現しており、まれに男性土偶と称されるものもあるが股間の突出物は出産の状態をあらわしたものかとの意見もある。土偶にはその表現の特徴によりハート形土偶、山形土偶、ミミズク土偶、遮光器土偶等とよばれている。中でも東北地方の晩期にみられる目を大きく誇張した遮光器土偶は有名であり、教科書にも必ず写真が掲載されている。

熊本県下の土偶はこの内、加曾利B式土器（縄文後期中頃）の山形土偶の影響を受けたものである。顔面の造作はいづれも簡単であり、関東・東北のミミズク土偶や遮光器土偶のようなものはない。顔面を平らに、後頭部

を半球形につくっているものが多い。最も簡略化されたものはこれだけで目も鼻も口もない。これに少し造作が加わると顔面の中央に小さな押点を付けて口だけを表現したものがある。口の次に付けられるのが目である。目は丸く作ったものは少なく「へ」の字形の線で表現しており、目なのか眉なのか判然としない。目、口の次には頭頂部や後頭部に頭髪をおもわせる細線をみるものがある。このほか稀に耳や鼻を表現したものもある。それでは土偶の写真をみながら顔付きをながめてみたい。

写真(1)は全長7.2cmの小形の土偶である。右脚を欠いているが、ほぼ全体がそろっている珍品である。腹部は大きくふくらみ妊娠を表現している。乳房も大きい。胸から腹部にかけての表現とは異なり顔面は全く簡略化され口を付けただけで目も鼻もない。



写真(1) 飽託郡北部町太郎迫遺跡出土
上野辰男氏蔵

写真(2)は半球形の頭部である。顔面はオーニギリ形をしており、下寄りに丸い口があり、その上に海鳥が飛んでいるような目が描かれている。あるいは眉であろうか。後頭部には横に弧線を重ね頭髪を表現している。



写真(2) 飽託郡北部町山海道遺跡出土
上野辰男氏蔵

写真(3)は(2)と似ているが目の表現に2本の線を用いている。或いは上の線が眉で下の線が目なのであろうか。大きく口を開けて笑っているのであらうか。それとも泣いているのか。



写真(3) 左 菊池郡泗水町三万田遺跡出土
右 菊池郡大津町小林 ワクト遺跡出土
片岡英治氏採集、熊本博物館保管

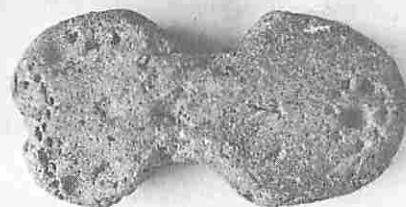
写真(4)は四肢を欠いているが、胴から頭までよく残っており、全長10.1cm。胸には大きな乳房が付けられている。垂乳根の母の像であらう。顔には小さな目がある。頭部には

頭髪が表現され、その両端には耳が付けられている。耳の穴が貫通しているところからみると環状耳飾を装着している状態であらうか



写真(4) 飽託郡北部町四方寄遺跡出土
上野辰男氏蔵

写真(5)は実に大胆に省略されたもので頭と胴を分銅形に表現している。胴部は乳房もなく、ただ下端に陰部を押点であらわし、そのまわりに刺点をめぐらしている。陰毛であらうか。頭部は左右に著しく離れて目が付けられ、中央のやや下寄りに口がある。頭の上と左右には刺突の列があり頭髪と耳を表現していると考えられる。人体をこれだけ省略するのもやはり現代感覚の所産ではとうてい作り出し得ないであらう。



写真(5) 菊池郡七城町 亀尾遺跡出土
県立鹿本高校蔵

このような熊本の土偶をみていると、関東や東北のものにみられる煩雑さはない。大胆な省略の中に、一見無造作につくられたようで微妙な人間の瞬間の動きを実にうまくとらえて表現している。熊本の土偶はそのすぐれた芸術感覚で現代の私達に何かを語りかけて

いるようである。それはあまりにも複雑に入り組んだ現代社会からの逃避であろうか。しかし、私達は再び縄文時代に帰ることはできない。そこで、古代の文化財と緑の自然をいかに多く残して、生活の中に生かしていくかが問題となろう。



市歯会主催学術講演会 予告

10月25日(土) 午後2時～5時

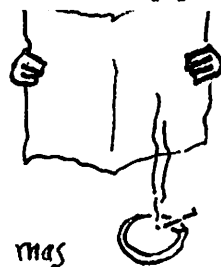
場所 未定(県歯会会館3F or 福社会館5F)

講師 ビーチ蓉子

演題 “歯科補助に対する考え方”

ヨ ッ ト

本日休診



会 員 武 内 旌 表

I
ヨットと名のつく船を持つようになってからまだ10数年しか経過してない。随分長く持っていた様な気もしたが。

初代「日吉丸」は、18フィート（艇の長さ）のモーターセラーで、小じんまりとはしていたが非常にスピードのある艇。

「第二日吉丸」は、初代よりスピードは遅くなったが、充分な長さで安定性の上では数年間を満足して有明海を、八代海と走り廻っていたが、笑窪もあばたに変わり、次第に種々の所が鼻につきだしたとなるといたたまらず、2年前、今度は25フィートの艇に乗り変えてしまったのが、「日吉丸三世」で、キャビン内は充分に立ったままで歩け、トイレルームも別になり、毎朝の使用も不自由しないようになったし、3泊や4泊のクルージングにも余裕が出来て、当分はまあ満足しているのだが、後いつまで続くやら。所で、艇名について、終始「日吉丸」で過してきた。ヨット名として、「丸」シップは少く、日本全国でも5指に満たないと思われる。多くは「ネプチューン」「バックス」「ブルーエンゼル」とか「フライングレディ」のような外国語華やかで、英語、フランス語、ポリネシア語、スペイン語と国連並みで国際色豊かである。ヨットだけでなく最近商船でもフェリー、タンカー等でも丸シップは少くなり、次

第に消滅の一途をたどっているような気もする中で、日本のヨット界にて、レースにクルージングに名をなさしめんと天下統一の覇者、太閤秀吉の幼名「日吉丸」より頂戴し、命名したんでしょうと、心ある人は云って下さる。まったく有難い気もするが、実の所そんな気は毛頭なく、何も思いつかぬまま、開業地が日吉校区だったので日吉、それだけでは一寸寂しいので「丸」をくっつけ「日吉丸」。白川校区だったら「白川丸」、出水校区だったら「出水丸」となったはず、まったく無責任な話で様になってない。

II

所で、何も艇に何回乗り変えたか、艇名は何かと質問されたわけではなく、動機ですね、（なぜ貴方はヨットに魅力を感じ、海に行くようになったか）がテーマであったので、最初から脱線して仕舞ったわけで申し分けない。と云うのも取りわけチャンスも理由もあったわけではなく、実家が天草で子供の頃より毎夏休みには、取るのも取りあえず、海に帰り、水泳、ボラ釣り、夜のイカ釣り、サザエ取り等々で、一夏過し、夏休みの終りには、宿題の鬼に追い回される夢を今もなお見るしまつ。

身近かに海があったから、と云いたいのだが、友人の中には、大学に入ってから始めて海を見、ヨットを手にした人々も多くいるのでは、何とも説明しようもなく、やはり海が、

船が、そこにあって好きだから、と云う以外説明の仕様もない。まったく無責任な話し。

Ⅲ

よく質問されるのに、ヨットに乗って「何をするのか」と、つり、水泳、カモ撃、ダイビング、水上スキー、レース、クルージング等であるが、それらはほんの一部分に過ぎず、多くの時間はただ、風のない時はうねりに艇を玩遊ばすだけ、デッキにゴロリとなり、静かに流れ行く雲の型に、マリリンモンローのヒップを、渦巻きアンパンを、サントリーのボトルをと、くだらぬことのみ想像しながら何時のまにか寝込み、「ブオブオー」と云う汽笛に目を半ば開きかければ、目前に1000噸もの貨物船にひやりとさせられる。

何処からともなく風がひたひたと頬を打ち、髪の毛も西風を拾うようになると、ひたすら呼吸をつめ、セールを上げ、シートローブをかみ、風向をしらべ、風力を計り、やおらヨットを波に乗せ、すべらせて行く。ヨットがやつとおしゃべりを始める。波を切り開く、シャワシャワシャワシャワの音、セールをためかす、ヒタヒタヒタヒタとの中にヨットは生きかえり生氣を取り戻し波間をダンスに興ずるようになる。それだけ、ただそれだけがヨットの遊びではある。

連休で数日を過せる時は、又計画も考えられる。台風が来ないかぎり大丈夫。艇体、エンジン、オイル、クルの健康、食糧、一番大切なウイスキー、すべてOKとなると後は潮待ちをして三角港を真夜中に出航、三角の白灯台が見えなくなると、湯島の灯台が左手に、正面に口之津の灯台、3時間も過ぎれば五通嶺の赤灯台、いよいよ有明海とも別れ東支那海にいる頃になると規則正しいうねりがツービッチでやってくる。クロスベアリングをとって艇の位置が出る。コースは190度

海の上には道路はないが、灯台が、風が、星が道を教えてくれる。デッキには、ワッチの2名のみを当直に、後は「オヤスミ」。1杯のウイスキーに4時間のワッチ開けまで、1睡をむさぼる。デッキの2人は話をするでなく歌もうたうでなく、星と灯台の灯と、遠くに見えるイカツリの漁灯が自分の存在を確認してくれる。風が静かに艇をすべらせる。単調なリズムでうねりが船首を持ち上げ、船尾を押し下げる。

回りが明るくなったなと感ずる。星が一つ消えさり、二つなくなり薄明が周囲のシルエットを溶かし始める。先迄空を包んでいた暗闇に金色のハケが一筆二筆、カラーの世界が蘇がえり、遠くかすかに、九州の山脈が浮び上がる。朝風にも風も死にエンジン始動、ジーゼルエンジンの単調な音が夜をすっかり拭い去り、朝が、そして真夏の太陽は一足飛びで昼を再現する。目眩めくような太陽はようしゃなく頭上に降り注ぎキャビン内は40度にも上り、日陰を求めて、セールの下、マストの日陰に転々とする。風はどこへいつてしまったのか。朝風からもう5時間6時間、ジーゼルエンジンだけがリズムカルにコトコト音を立てている。ふと見ると日ももはや西に傾き突き差すような日射しも少し柔げられ、南東の風が起きだし、又もとの帆走に切反えたため静寂がやつて来る。真赤に燃え上った太陽が海水で「ジュユット」するような音が聞えたかと思うと水平線にスイッと吸い込まれてしまふ。黄金色から赤色、アカネ色と色彩が薄れ、夜のトバリが周囲を包みだす。

東支那海の海の色もブルーから次第にライトブルーの明るい色に変り夜光虫が艇をおぼろに包む時、子供の鳴き声のような音がまわりつく。今晚も又悪戯者のイルカが10数頭ついて来るのだ。船首にいたかと思うと船

尾に、1頭がジャンプすると美事なスイミングで艇より高く3頭5頭とジャンプして前になり後になりしてついて来る。1時間も2時間も飽きる事なく艇の周囲をぐるぐると遊んでいる。ふといなくなる、もう遊びにも飽きたんだろう、北斗七星のみが後方に輝やいている。

4度目の朝がやって来た。沖縄が横に長く横たわったシルエットとなって飛び込んで来る。「あれが沖縄だ」、1人が2人3人とデッキに集まりただ無言。4日間各人の苦勞も今では消え去りひたすら全クルーが言葉もなく見詰めている。

矢毛石先生とそのヨットは計画通り沖縄海

洋横に無事参加する事が出来た。熊本三角港を出航から4日半、エメラルドグリーンの飽くまでも澄み切った海はサンゴを誇らしげに広げアンカーを打つのもためらわれる。

Ⅳ

ヨットには免許証も、許可証も必要ではありません。歯科界では、竜田町上立田、矢毛石幸男先生、水道町8番、浜坂浩先生がヨットレースに又、クルージングに年間を通して活躍して熊本ヨット界に名を広められています。一度はヨットに乗ってみたいと思われる先生方へ土、日曜日は大抵ヨットライフを行っていますので喜んで招待いたします。

静かなセーリングへどうぞ!!



クラブ紹介

現在のメンバー総勢16名より成る野球部、熊本市の先生を中心に診療のあい間、チームワークよろしく、和気相合、練習に励んでいる。平素の運動不足をおぎない、はつらつとしたプレーを披露する。あくまで毎年秋に行われる九州歯科大学大会時の九州ブロック歯科医師野球大会に照準を置き、この猛暑の中玉の汗を流している。

歯科医師会野球部

先日8月10日(日)は県営藤崎台球場で、宇治道孝、田島宗穂両先生を中心とした神奈川歯科大学OBとの交歓ナイター試合を行い、超満員?のスタンドを横目で見ながら、ナイターの醍醐味を満喫した。又、9月4日(休)、9月17日(休)(於藤崎台球場 ナイター)には技萌クラブ(技工士野球部)との定期戦などスケジュールも一杯で、今年は会の援助で

ユニホームも新調、9月28日(日)宮崎での本
大会では是非共勝たねばと張り切っている。

現メンバー紹介

総監督	松本文雄
監督	中根俊吾
助監督	田中穰
主将	富岡浩雄
マネージャー	松枝勝昭
投手	富岡浩雄
	浜崎猷作
	小嶋辰州
捕手	上田忠
	松枝勝昭
	藤本豊
内野手	田中穰
	本田亘
	中野敬輔
	青木道育

外野手	中根俊吾
	田中宏
	関剛一
	千場正昭
	五島保則
	菅原洋

野球部員募集

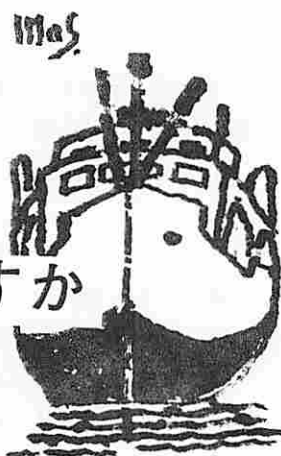
野球の好きな先生をお待ちしています。
気軽に練習に御参加下さい。

連絡先 TEL 57-9146 富岡 浩雄

(富岡浩雄 記)



おげんきですか



田 中 武 (81才)

新市街2-1

趣 味

喜多流謡曲、喜多流仕舞、書道

経 歴

昭和49年より診療中止



原 熊 男 (77才)

川尻町21

趣 味

格別なし

経 歴

東洋歯科を出てから、サーベルを掲げてみてく警察に入り、ユー

ターンして開業した関係で、警察後援会長、防犯協会長、警友会長、警察関係の役職を永く勤めて来て、地域での世話役として自治会長を永く勤めて来た。

歯科関係では県、市の専務理事も勤め、日支事変の際は県歯の代表として診療慰問団として中支に派遣された。

学校歯科医としては昭和16年から本年4月まで33年勤めて孫婿に医院と共に譲った。

ちょっと一言

最近特に歯科医療の事が問題

になっているが、医者と患者とが昔の様に人と人とのつながりが強く、何事も打解けて話合う事が出来たら色々なトラブルは起らないと思う。医は算術ではない。仁術である事を忘れて貰いたくない。本当に患者から親しまれ尊敬される医師になって貰いたい。

家族の紹介

愚妻と二人暮らし。来年は喜寿を迎へ、金婚を迎へるので特に健康に留意したい。



出 口 繁 男 (72才)

国府一丁目

趣 味

謡曲、狂言

経 歴

大正14年、大歯大卒

昭和2年5月5日開業

昭和13年 日支事変

に応召

昭和21年 印度作戦を経て帰還

昭和24年 県歯会副会長(4ケ年)

家族の紹介

なる恵 妻

富美子 長女 26才 熊本女子大食物科卒、只今花嫁修行中(次男出口瑞男歯科医院にて)

大平 四男 25才 大阪歯大卒 現在出口瑞男歯科医院にて修行中



古川 利之 (72才)

水前寺公園 4-27

趣味

釣り、囲碁

経歴

昭和6年から39年春迄通信病院歯科勤務。

39年5月から現在地に開業、現在に至る。
家族の紹介 二男三女でそれぞれ就職、結婚
しています。孫は6名います。



富田 久 (72才)

本庄6丁目 17-27

趣味

山猿、海猿、碁、将棋
麻雀等なんでも広く浅く
やったものですが、
現在では婿達や娘等と

時たまの家庭麻雀を楽しむ位です。

経歴

S4年九歯大卒、同5年現住所に開業、
同7年春竹小学校歯科医師嘱託、市歯科医
師会理事、学校歯科医師会理事、市副会長、
県市代議員、代議員議員、選挙管理委員長
等数々の身に余る役員を若さにまかせて活
躍させて頂いた事、楽しい思い出です。

ちょっと一言

治療室に行っても技工室をのぞいても昔
になかった様な種々の機械が林立し、あら
ゆる設備が完備して、従業員もテキパキと
良く働いて居り、待合室には患者が数知れ
ず待っていると云うのに、なんとなく淋し
い冷たい感じがするのは何故でしょうか。

患者さんの口をのぞき込み乍ら、お互い
の家庭の事や子供達の事等しゃべり合って
治療に当たってゐた私の郷愁でしょうか。

家族の紹介

妻政子 (61才) は娘3人、長女 (宇都

宮歯科) 次女 (木村歯科) 3女 (木下土木
建設会社) に嫁いで残った1人息子である
長男の嫁探しに一生懸命になっています。

長男久之 (28才) 独身は46年九歯大
を卒業以来病弱な私を助けて医院の一切を
やってくれていますが、伴良となって下さ
る良き娘さんが居られたらお願いします。



工藤 文夫 (71才)

清水八景水谷 1500の40

趣味

俳句、園芸

経歴

昭和5年3月現在地に
開業

元、県支払基金専任審
査委員

家族の紹介

静 妻

昭臣 長男

美智 長男の妻

孝昭 長男の長男 (中学1年)

智明 長男の次男 (小学1年)

正生 四男

長女: 富士子 (在大阪) 次男: 和夫 (在市
内) 以上三男一女、孫5人 (男3人、女2
人)



竹内 武雄 (70才)

上水前寺 1-1-7

趣味

スポーツ、狩猟、釣魚

経歴

当市桐野歯科勤務

昭和32年1月開業

家族の紹介

琴子 妻 (55才)

松 永 正 行 (70才)

水前寺2丁目19-15

趣 味

蘭、万年青、日本犬、散歩(愛犬同道) 毎日1時間読書

経 歴

あらためて過去を振り返って見ると、驚く程の経年である。真に歳月の進みは早い、幾多の山坂の道はあった。然し之は人として一度は経験すべきもので特記すべき事でもないだろう。

昭和10年4月(東京都墨田区現在の)開業、昭和20年3月10日大空襲、戦災に会い故郷鹿本に帰る。約8年治療に従事、昭和28年9月末現住所に転居現在に至る。

昭和16年12月8日大東亜戦開戦、其の間今も昔も同じ事だが生活の道は厳しいが、その時代なりに努力はして来た積りである。だが、しかし一生を通じて忘れる事の出来ない一つに敗戦と言う事があった(昭和20年8月15日)此の事は私一人の経験ではない。日本国々民全体の苦しい体験である。だとすると別に御紹介する様な経歴もなさそうで真に平凡な生き方で御恥かしい事である。70才を迎えた今日、今から幾年生きられるか前途は不明であるが、生ある中に何か一つでいい、立派な足跡を残して置きたいと思って日常努力を続けている。

歳を取るにつれ仕事は常に若くあり度い。

ちょっと一言

男女老若の先生よ！
選んだ聖なる道
医業に自身をもち
社会に胸を張って
堂々と歩こう。

家族の紹介

家族全員5名、孫1名 男(高一)

木 庭 了 (70才)

大江5丁目14-13

趣 味

読書、写真

経 歴

昭和5年開業

元市副会長

市立出水中学校歯科校医



ちょっと一言

各医院の従業員が年1回位集まりレクリエーション、知識の交換をする機会があれば良いと思います。

家族の紹介

長男	邦夫	歯科医	(二児)
長女	克子	(島田)	(二児)
次男	研二	公務員	(二児)
次女	佐喜子	(小林)	(二児)
三男	三郎	(会社員)	(一児)

竹 田 幸 輔 (69才)

上通町10番15号

趣 味

趣味の第一は鮎網でしたが5、6年前から限界を感じて止めています。現在は茸取りと小品盆栽です。

昨今サルノコシカケ菌類のブームですが、時々御宅はナベの先生ですかと電話がかかるのには苦笑します。

その他刀剣、やきもの、書について興味を持っています。目下勉強中です。

経 歴

昭和6年日大歯科卒業

昭和8年現菊池市で開業。開業に要した設備費は1,200円でした。最も不況な時代で米1俵6円、歯科医学士様の個人歯科医院の勤務手当20円が相場でした。

昭和13年結婚して熊本市水道町に開業。



昭和20年7月1日戦火にて全焼

昭和21年3月現住所にて開業

ちょっと一言

開業以来40数年間大いに努力して来ましたが、総ては未完成に終わっています。

歯科医学の進歩は無限である。人生の行路も無限であると思っています。完成山と云う高峯に向って希望を以って一步一步と登り続けている日々です。

家族の紹介

妻と3男2女と孫3人です。

妻 妙子(62才) 花物園芸が好きです。

長男 信幸(36才) 経済連勤務(別居)

次男 英幸(31才) 熊本市役所勤務(別居)

娘2人は嫁いでいますので夜は老夫婦2人限りです。

三男 敬幸(26才) 今春日大歯学部を卒業しました。3、4年は開業学を勉強させます。目下東京在ですが嫁は本県人を希望していますのでよろしく。

万 江 春 樹(68才)

健軍町4丁目6-16

趣 味

特にありません。(1)唯絵を見ること。(2)音楽を聞くこと。(3)植物(鉢もの、花や盆栽)を眺めることで、自分でやることは出来ません。絵は眺めながら作者と話せるからです。音楽は学生時代は音楽会とあればのがしなく行ったものです。ジンバリストのヴァイオリン独奏の時等やつと金を貸りて行った事をおぼえています。(4)読書、人生の終末に来て乱読、雑読の余裕はありません。唯一筋のものです、足元におき忘れてるもの、見えないものに全余生を賭けています。

経 歴

九齒を出て丸山先生の紹介で広島に参り

ました。半年足らずで止めましたが私が帰った後その先生が死亡し歯科後継者がいなかった為に丸山先生が万江君はおしいことしたなあ、今少し辛抱すれば後を継ぐ事が出来たのにと他の人に言われたそうですところがそうなら私は原爆で磷酸石灰になっていたことでしょう。それから八代、阿蘇と輔進し、戦後29年に熊本市へと帰って参りました。

30年腹膜炎で100日の入院生活、緒方益夫先生及健軍の先生方に変にお世話になりました。この時は医師から死の宣告を受けました。然し私は前後4~5回位死にそこなっています。どうしたことでしょう。先祖は人吉です。

ちょっと一言

日本の医療は医者犠牲に於て昔からなされて来ました。江戸時代の以前から医は仁術なりとの言葉は如何に日本の政治が貧困であつたかを意味します。(説明は紙面の都合上割愛します)

最近時間外労働を拒否する組合員がふえています。その組合員の方が午後6時過ぎに治療の為来院します。自分達が時間外労働を拒否するなら他の戦域に対しても時間外にならない様な配慮がなさるべきだと思います。

この頃週休2日制があちこちに聞かれます。結構なことだと思います。3日制でもよいと思います。高度成長によるエコノ、アニマル、レジャーアニマル、親子アニマル等々で休日がふんだんにあれば落付いて物事を考えることが出来ることと思うからです。

家族の紹介

2人の子供1男1女はそれぞれに生長しました。長男は私の後を継ぐことは拒否しましたので自由な道を進んでいます。今は老夫婦の二人暮らしです。患者と共に真儼に生きて行きます。実は私の姪に適齢期が一人います。家業は三代に渡る酒造業、醸造元です。どなたかよろしくお願い致します。



塩見 国太郎 (65才)

花畑町 13 ~ 3

趣味

日本調尺八、囲碁、剣道等々奥義を極むるに至らず。

経歴

敗戦を満洲国にて
21年より熊本市在住
この道40年、アー
ちょっと一言
昭和太平記
アラ呑気だね……

家族の紹介

女房 税務、社保其他一切兼任



厚生省は、7月8日に行った次官以下課長級に至る大巾人事異動の一環として、笹本正次郎歯科衛生課長と稲葉利正技官の退任を決めた。

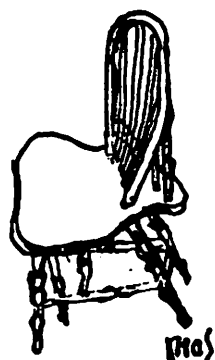
退任した笹本課長は、30年間にわたり厚生畑一筋に勤めたが、今回後進に道を開いた

もの。また稲葉技官は、4年程前退任する予定だったが、鹿島参院議員が動いて保健局内に、歯科医療を担当する管理官制度を創設、そこに昇格して納まり、今日に至った。

なお同氏の後任は、事務官から選ばれるものようである。

医歯薬新報より

Dining Room



有床義歯の修理とリベース

- 1) 問 有床義歯の破損修理と同時に破損陶歯等を取換えても人工歯科の請求はどうして、できないか。

答 修理料240点には、40点の装着料も同時に加算されていますので、実際の修理料の所定点数は200点で、この200点には修理に要する材料料を含むとなっています。従って新しい人工歯を何本使用されても、所定点数のみで、修理義歯を口腔内に装置された場合240点が請求されることになります。但し新たに鈎補強線等を使用された場合はこれ等は別に算定されます。

- 2) 問 床破損、陶歯脱落等の病名では補修料は算定されないとされているが、床修理で補修料の算定される場合と適切な病名はどのように記載するのがよいか。

答 補修料の算定できるのはリベースの場合と、有床義歯の一部に抜歯等により欠損を生じその部分に人工歯を追加修理する場合算定できます。記載病名については例えば「7+7床不適(リベース)6」欠損床修理等が通常用いられています。

- 3) 問 床修理の印象料は40点70点のいずれでもよいか。

答 一般の床修理の印象料は40点で、70点の印象料の算定できるものはリベースの場合、機能的印象を行なったものについてののみ算定されます。

- 4) 問 有床義歯修理後更に当該部位歯の新義歯を製作してよいか。

答 差し支えありません。

- 5) 問 有床義歯修理と同時に更に当該のリベースを併せ行ない双方とも請求できるか。

答 リベースのみの請求となります。但し修理を行なったが適合が悪く日を異にし更にリベースを行なったような場合は同月でも双方とも請求できます。

- 6) 問 旧義歯に即時レジンを使用口腔内に即時リベースを行なったようなものについてはリベースは認められるか。

答 そのようなものは修理の点数で請求することになっています。

- 7) 問 床修理を行ない装着当日の調整料は認められるか。

答 当日の調整は装着料に含まれて算定できませんが、次回以後は算定されます。

- 8) 問 義歯調整と同時に軟処置料を算定する場合の適当病名は。

答 義歯によるDul等が通常用いられているようです。

スタディモデル作製、請求について

1) スタディモデル作製上の制約

模型上確認しなければ、咬合関係等が十分に診断できない場合、又補綴的診断乃至設計ができないような場合作製して差し支えないとなっています。

2) 作製の時期

- A 初診時又は急性炎症等の処置後全口腔について診査を行なう場合
- B 補綴又は手術等に着手する前
- C その他特に必要とする場合

3) スタディモデルの応用

スタディモデルは診断設計に使用された後作業用として応用することは認められませんが各個トレー、暫間被覆冠の製作に応用することは差し支えないとされています。

4) 製作上の注意事項

- A 上下顎を同時に1口腔単位で製作する。従って1口腔に2個所以上の補綴部位があっても1回として算定します。
- B 精密印象で行うこと。
- C 副模形を作られても差し支えありませんが~~模~~としての請求はできません。
- D 目的に応じ口腔の清掃、特に補綴の場合は歯石等の十分な除石が必要である。
- E 手術に応用されるものは広範囲又は困難な特種の場合とされています。
- F 医療機関の方針等に総ての患者に慣例的に指導又は後日の参考資料、研究のための作製は行なわれても保険の請求は認められません。

指導料、調整料、監視料の算定について

1) 指導料

歯槽膿漏症に対し療養の指導を行なった場合にのみ算定できる。初診時又は、初診の日から2週間以内に行なった指導の費用

は初診料に含まれ算定できない。次回は初診日を起算日とし2週間を経過した日以後、又は前回指導料を算定した日を起算日とし2週間を経過した日以後更に療養上の指導を行なった場合にのみ算定できるものである。

(注) 単に口腔衛生上の指導を行なっても現時点では算定されない。

2) 調整料

調整欄の12点は充填物の研磨で1歯1回の算定

(注) 充填当日の研磨は認められない。

18点は充填物を除く歯冠修復物で、ダミーも準用されている(1歯につき1回とす)

(注) 架工義歯の調整等はこれによつて行う。

30点は有床義歯で装着後において日を異にし調整を行なった場合1装置1回につき算定される。

(注) 1装置に同時に2個所を調整しても1回の算定で、必要に応じ回数に特に制限はない。

3) 監視料

A 欠損補綴物の監視料

受診期間を通じ必要があつて行なった場合1回限り1口腔単位で算定される。

他院での製作物については当該初診の日より2週間以上を経過した後1回限り1口腔単位で算定される。

但しいずれも調整料を算定した場合は監視料は算定されない。

B 暫間固定、副子等の監視料

暫間固定については1装置につき1週1回、副子固定については1口腔1週1回の算定とされている。

(注) 暫間固定、副子等の監視料は処置のその他の欄に記入のこと。

熊本基金通報より

理 事 会 記 録



4月3日(休)

1. 新年度各委員会委員の委嘱について
2. 新年度春季会員レクリエーションについて。

宇都宮常務より、本年度は、4月29日に宇土「火の国ランド行き」に決定との報告あり、当日午前9時に市民会館前に集合と決定

3. 学術講演会について

新年度第1回学術講演会を4月19日(出)県歯会館2階で、楠正夫教授による「最近の歯周病に対する考え方その3」の講演会を行うとの添島理事より報告

4. 口腔衛生週間について

例年のごとく母と子のよい歯のコンクールを5月に行うとの中根理事より報告

5. 新年度の代議員会開催について

4月16日PM7.00より新しい市代議員のもとで開催することに決定

5月22日(休)

1. 新、旧理事の事務引きつぎ
2. 母と子のよい歯のコンクールについて

5月24日(出)AM9.00より熊本保健所で行い、表彰式を行う予定で、熊本市代表3組が県大会に出場する予定と中根理事より報告

6月13日(休)

1. 口腔保健センター出務について

6月より10月末まで、市歯科医師会担当の口腔保健センター出務が4回ある。そこで各委員会が1回ごと2名出務することに決定。日当3,000円

2. 6月4日に市薬剤師会主催の「健康な子どもにそでてる会」発会式に角副会長が出席されたとの報告

3. 医療担当より

賃金、給与に関する問題を税理士より説明を聞く会を考慮中との報告

4. 口腔衛生担当より

学術委員会と合同で、衛生士の研修の為の講演会を計画中との報告

5. 学校歯科担当より

(1) 養護教員との懇談会を行い、予防歯科の考え方をPRすることを計画

(2) 小中学校で出す歯科検診の治療証明書は、各校バラバラであり、その記載内容も不統一なので、市内学校で一律に統一したらどうか、調査し、検討することを学校歯科委員会で考慮してもらうことに決定

(3) 相沢文規先生死去に伴う碩台小学校々医の後任について、当該小学校の近所の先生にお願いすることに決定

6. 社保、国保の返送レセプトの実体を県単位で調査をするそうであるが、再提出の面倒なものは、市歯会単位で、まとめて提出出来ないか考慮してはとの提言があった。

県歯会の調査結果をまず注目することに決定

7. 広報担当より

会報記事について、各委員会及び担当理事の積極的な投稿と記事を要請

7月24日(休)

1. 口腔保健センターに出務の市歯会担当日の会員日当は、これを県歯会に協力する意味で、市歯会会計より捻出することに決定

2. 医療管理担当より

- (1) 県歯会の医療管理アンケートは、日歯の労務管理アンケートにもとずいて行なわれたもので、市歯会の医療管理委員会もこの結果の出るのを待っているとの報告

(2) 雇用保険法について

これは従来の失業保険に変わるもので、県歯会でも検討中とのこと。

当日県歯会事務長より、雇用保険法について説明及び解説を聞く。この保険法について質問があれば、県歯会の瀬上事務長さんにおたずね下さい。市歯会としては、日歯及び県歯会の本法に対する対策をみたくて決めることに決定。なお、参考書として、雇用保険法解説と手続、労働省職業安定局編著、900円、公共職業安定所で販売しています。

4. 広報担当より

広報活動等の為、録音機の購入を要望し、理事会で了承され、備品費から購入する予定

8月23日(休)

1. 角副会長、肝臓疾患の為、国立病院内科に入院。入院中の医療管理委員会の運営について協議

2. 中間会計監査について協議

3. 9月22日(月)に代議員会を開催することに決定

4. 熊本市歯科医師共済会の規程の一部変更について

- (1) 会費の変更、不定期1,000円を2,000円に

- (2) 会員及び家族への弔慰金等の変更について

5. 学校歯科担当より

NHKのテレビで天気予報の後に、15秒間のスポットに歯科予防のPRを行うとの話がNHKとの間に進みつつあるので、市歯会の全会員の協力をお願いしますとの提言あり。

6. 学術担当より

- (1) 10月25日(土)昼より3時間、先生と衛生士さんの為の講演会をピーチ蓉子講師を招いて、学校歯科、口腔衛生委員会と共催で行う計画が調ったので、衛生士さんも助手の方も多数御出席下さい。

(2) ビデオテープについて

生テープを購入して、コピーし、学術ビデオテープを借出したらどうかと検討中である。ただし借出しの規定をつくることは必要と思われる。

- (3) 市歯科主催のビデオテープ会は盛会であり、さらに多くの方の出席をお願いします。

7. 衛生委員会担当より

10月26日(日)に無料の歯科検診を行う。場所は岩田屋伊勢丹にお願いする予定

8. 学校歯科担当より

10月22日～25日の間学校11校を巡回し、歯みがき訓練を行う予定。当該校の学校歯科校医の先生方には、必ず当日担当校に一詣いただきます様お願いします。

9. 広報担当より

会誌19号の一部内容変更につき、今までの印刷所を含めて19号の入札を行った

結果、秀版印刷に依頼することに決定

各委員会記録

広報委員会

4月10日

1. 新、旧委員会の引きつぎ
2. 市歯会会報の編集について説明会を行う。

5月21日

1. 会報第18号の編集会議
2. 第19号以後の会誌の編集方針について協議

6月16日

1. 会誌第18号の初校々正
2. 会誌第19号の表紙はカラーで行くことについて協議。太陽社と秀版印刷より見積書を出させることに決定
3. 口腔衛生センター出務の件

7月27日市広報委員会より、甲斐、坂本両委員が出務することに決定

7月4日

1. 会誌第18号の完成、寄稿者への会誌と御礼の手配
2. 会誌19号の各ページの担当を決定、それにもとずき会員自己紹介ページ等アンケート用紙作制

3. 会誌19号から表紙をカラーにすることに決定

8月20日

1. 会誌19号編集会議
2. 取材用録音機の取あつかい方講習
3. 会誌20号の編集方針の協議
4. 会誌19号の校正期日その他の協議

学術委員会

4月15日

1. 学術委員紹介

2. メカ関係責任 片山先生

記録関係責任 緒方先生に決定

3. 各委員の緊急連絡網の決定

緒方 ↔ 岩村 ↔ 添島

椿 ↔ 片山 ↔ 元島

4. 楠教授の講演会4月19日決定とその準備の件

4月19日

『歯周病に対する考え方』講演会

日大歯学部楠教授

4月20日

1. ビデオカセットによる『歯学研修セミナー』放映の件
2. 講演会に会員出席の増加を計る為の方針
3. 有料講習の件
4. ビデオコーダー、スライドプロジェクター、オーバーヘッドプロジェクター、その他学術関係器械の使用法の就知練習

4月25日

1. ビデオ放映日決定 毎月第4木曜日、5月より放映開始、放映テーマ決定、会員に放映通知の件、毎月葉書放映責任者の決定

5月22日

1. ビデオ放映
2. ビデオテープ購入の件
3. 理事会報告、代議員会報告

6月3日

1. 県歯主催器材店協力の件
2. ビデオ放映参加者拡大の件
3. 歯科補助者向け講演の件

6月26日

1. ビデオ放映
2. 口腔衛生センター出張の件
市学術から8月3日 { 緒方
当番医 { 元島
3. アシスタントセミナーの件

4. 九州デンタルショオ出席の件

との相談（検診カードの一律）

5. 理事会報告

7月24日

1. ビデオ放映
2. 日歯中央研修セミナー報告
3. 理事会報告

医療管理委員会

4月23日

昭和50年度熊本市歯科医師会医療管理委員会初会合、本年度事業に関して各委員の先生の御意見を伺い、次回より事業に関して立案検討することにした。

尚県の医療管理担当理事の木村先生より県の医療管理の計画に就いて説明があり散会した。

会員福祉委員会

4月24日

1. 4月29日予定レクリエーションについて会合、誰の役割
2. 新委員会、委員顔合せ

学校歯科委員会

4月18日 学校歯科委員上半期の事業計画及び委員の紹介

5月7日 県学校歯科委員会と合同（県市体育保健課を交えての懇親会）

5月26日～6月10日迄 歯の衛生週間の期間中、小学校にフィルム、スライド、カセットテープの貸出し。

6月20日 秋の歯みがき巡練指導の計画（対象11校）期間10月22日～26日（5日間）

7月18日 委員会と市体育保健課の森先生

口腔衛生委員会

4月21日 新役員の紹介

年間事業の計画

5月7日 熊本市「母と子の良い歯のコンクール」について打合せ

5月24日 「母と子の良い歯のコンクール」熊本市選出者の審査

5月31日 歯の衛生週間について打合せ

医療保障委員会

5月16日

1. 社会保障委員紹介
2. 委員会委員長互選、菊池英一先生を選出

委員会だより

学校歯科委員会報告

1. 昭和50年度虫歯予防週間事業の一環として映画スライドの貸出しを5月26日より6月10日迄下記の通り行いました。

映画 1. 歯と食べもの

2. 歯をきれいに

3. モグモグクラブ

4. 生えかわらない歯

5. よい歯

6. 歯ならび

7. さようならむし歯（本年度購入）

スライド

1. こわいむし歯

2. 歯のやくめと健康

3. よい歯と強いからだ

4. 歯歯物語

5. そろって虫歯のない学校

6. 歯科衛生(1)(2)

ビデオカセット

1. 歯のみがき方

貸出校 池田小、小島小、城山小、古町小、田迎小、碩台小、白坪小、松尾小、東町小、慶徳小、日吉小、城北小、中島小、託麻小、一新小

ビデオカセットは現在「歯のみがき方」一本ですが、小中学校に於ける今後の教育

のあり方として普及が考えられますので当委員会としても今後考慮していく予定です

2. 5月29日「昭和50年度熊本市学校保険総会」に2名出席、特別講演として「虫歯の予防について」講師、林正之先生が講演されました。

3. 6月21日、7月17日「昭和50年度熊本市健康優良児童並に学校の審査」に2名出席しております。



秋の歯みがき巡練指導の実施校計画

- 10月22日 御幸小学校 (9:00~10:00)
田迎小学校 (11:00~12:30)
花園小学校 (13:30~14:30)
池田小学校 (13:30~14:30)
- 10月23日 春日小学校 (9:00~10:00)
中島小学校 (11:00~12:30)
松尾東小学校 (13:30~14:30)
- 10月24日 託麻北小学校 (9:00~10:00)
託麻西小学校 (11:00~12:30)
桜木小学校 (13:30~14:30)
碩台幼稚園 (13:30~14:30)
一新幼稚園 (13:30~14:30)

以上の様に計画しております。市歯会の学校歯科委員会、口腔衛生委員会の各委員の先生方で実施されます。各該当校の担当校医の先生方も出来るだけ当日は担当校で一諸に指導に当られます様お願い申し上げます。

新 会 員 御 紹 介



伊 東 隆 利
子飼本町 3-14
生年月日
S 1 7. 7. 30
趣 味
水上スキー、登山、サ
イクリング、音楽鑑賞
茶道、ダイビング、

好きなことば

敬天愛人

経 歴

昭和 3 6 年 3 月 県立熊本高校卒業
昭和 4 3 年 3 月 日本大学歯学部卒業

昭和 4 3 年 4 月 鹿児島大学大学院医学研
究科歯科口腔外科専攻
入学

昭和 4 7 年 3 月 同 卒業
昭和 4 7 年 4 月 文部教官助手捧命
昭和 4 8 年 1 1 月 医学博士の学位を授与
さる。
昭和 5 0 年 1 月 文部教官講師捧命
昭和 5 0 年 5 月 同 退職
昭和 5 0 年 6 月 現在地にて開業

家族構成

美礼 昭和 2 1 年 8 月 6 日生 妻
美加 昭和 4 6 年 1 0 月 1 2 日生 長女
博美 昭和 4 8 年 9 月 6 日生 二女



西 川 庄 次
保田窪本町 446-5
診療所
水前寺1丁目524番3号
生年月日
S 17. 5. 7
趣 味
蝶採集

好きなことば

特になし

経 歴

昭和 3 7 年 3 月 熊本商大付属商科卒
昭和 4 1 年 3 月 同志社大学卒
昭和 4 8 年 3 月 九州歯科大学卒

家族構成

孝子 昭和 2 0 年 4 月 2 日生 妻
文 昭和 4 9 年 1 0 月 1 5 日生 長女
あや

退会の先生

田 中 聖 一 九品寺 2 丁目 6 - 75 植木町米塚字向田 167 - 1 に開業移転のため

編 集 後 記

10年間続いた市歯会の前執行部の後をうけて、はや半年経過いたしました。はたして皆様の手足となって動いているかを振り返っています。

広報委員会では、会員皆んなの会報、つまり、先生方にさらに一諸になって考え、参加していただく様にと編集を進めていますが、皆様のアイデアをお待ちします。

この数年、新しい大学の新設に伴い、若い先生方も増えています。新旧、老若の先生方の新しい意志の疎通が出来ればと、先生方の自己紹介のページとして“おげんきですか”を新設い

たしました。先生の番が廻って来ましたら、いろいろ日頃思っておられることをぜひどうぞ一諸に筆にしてください。

また、連日狭い口の中の歯と対面している私達ですが、そのストレス解消法としての趣味のページとして“本日休診”を取り上げてみました。これは面白い、ぜひ皆さんに紹介したい、同好の士としてさそってやろうというページです。

以上新しい広報委員会に御協力を！

堤 直文 記

熊本市歯科医師会会誌

第 19 号

発行日 昭和50年10月1日発行

発行所 熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL(43)6669

発行者 緒方益夫

印刷所 株式会社秀版印刷

熊本市春日2丁目5-6

TEL(52)1588